

原料費調整制度に基づく2022年11月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年11月検針分の単位料金を調整した結果、2022年10月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき4.46円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年6月～2022年8月の平均原料価格が54,080円/t (2022年11月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を54,080円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年10月検針分と比較して、160円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年11月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月の ご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³) (参考)	154.24	132.69	120.07
10月 調整単位料金	149.78	128.23	115.61

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	2022年 10月	2022年 11月	増減
適用料金(円/月)	5,912	6,072	160

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

